



## 1 意義

- 自由で開かれたインド太平洋(FOIP)の実現に向けた取組は日本外交の柱の一つ。東南アジアは同地域の中心に位置し、**FOIP実現の要**。中でもベトナムは戦略的利益を共有する「広範な戦略的パートナー」であり、地域の諸懸案に対応していく上でも鍵となる国。
- 岸田政権初の外国首脳としてチン首相を迎え、首脳間の信頼関係を構築し、地域情勢に関する意見交換を行うとともに、**サプライチェーン**の強靱化、**技能実習生**を取り巻く環境整備、2023年の**日越外交関係樹立50周年**に向けた連携を確認し、コロナ後の飛躍のために日越関係を深化させる機会とする。

## 2 主な成果

### ①コロナ対策における協力

－ワクチンの追加供与、感染拡大防止に向けた技術協力、官民協働のワクチン開発協力

### ②ポストコロナの経済再生に向けた協力

－日本企業の誘致に向けたベトナム政府による投資環境整備

－産業育成(日越DX協力、サプライチェーン多元化、ベトナムの裾野産業育成)

－新たなインフラ協力の着手(ロンタイン国際空港整備、ダイガイ橋建設計画)

－技能実習生を取り巻く環境整備(悪質業者排除のための意思疎通の強化、技能実習制度の適正な運用に向けたシステムの構築に向けた協力等)

－民間投資に関する覚書等の交換(45件)、経済協力案件の署名(2件)

### ③国際社会の共通課題における協力

－2050年カーボンニュートラルに向けた協力(日ASEAN気候変動アクションアジェンダ2.0、AETI等)

－消防・救助能力向上に向けた協力(「消防・救助能力向上計画」のプレッジ)

－ASEAN+3における金融協力の更なる推進(SEADRIFへのベトナムの加入等)

### ④地域の安定と平和を見据えた安全保障とFOIP実現に向けた協力

－海上保安能力向上のための協力(海上捜索や救助関連機材の供与について署名)

－ベトナムの国連アビエ暫定治安維持部隊(UNISFA)参加準備に関する協力

－日越防衛装備品・技術移転協定の下で艦艇分野を含めた具体的な装備移転の実現に向けた協議の加速化

－サイバーセキュリティ分野及び衛生分野での協力に関する各覚書への署名

－日ASEAN防衛当局サイバーセキュリティ能力構築支援の越での将来的な事業実施を含む連携

### ⑤外交関係樹立50周年に向けた協力

－50周年日本側実行委員会の立ち上げ及びベトナム側による協力の表明